

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	介護雇用管理改善等対策費			担当部署	職業安定局		作成責任者		
事業開始年度	平成20年度	事業終了(予定)年度	平成27年度	担当課室	雇用政策課介護労働対策室		介護労働対策室長		
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定								
根拠法令(具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号、雇用保険法施行規則附則(平成25年省令第67号)第2条第8項			関係する計画、通知等	介護雇用管理改善等計画				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	介護労働者の雇用管理の改善や人材確保に取り組む事業主に対して支援を行うことにより、介護労働者が意欲と誇りを持って働くことができる社会の実現を目指した環境整備を図る。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	介護労働者の労働環境を整備するための介護福祉機器(移動用リフト等)の導入や介護労働者の雇用管理改善に資する制度等を導入し、雇用管理の改善を図った事業主に対して、導入費用の一部を助成。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	1,169	1,003	42	0	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	1,169	1,003	42	0	0		
	執行額	2,533	161	10	-		-		
	執行率(%)	217%	16%	24%	-		-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
	※成果目標には最終年度の設定なし。	介護労働環境向上奨励金(介護福祉機器等助成)を受給した事業所について、機器導入後1年間の離職率が機器導入前1年間の離職率より改善した事業所の割合	成果実績	%	-	-	-	-	-
		目標値	%	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
	※成果目標には最終年度の設定なし。	介護労働環境向上奨励金(雇用管理制度等助成)を受給した事業所について、雇用管理制度導入後1年間の離職率が雇用管理制度導入前1年間の離職率より改善した事業所の割合	成果実績	%	-	-	-	-	-
		目標値	%	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	介護労働環境向上奨励金(介護福祉機器等助成)の支給	活動実績	件	1,423	83	3	-		
	当初見込み	件	467	539	19	-			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	介護労働環境向上奨励金(雇用管理制度等助成)の支給	活動実績	件	149	28	2	-		
	当初見込み	件	1,054	67	7	-			
単位当たりコスト	算出根拠	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	単位当たりコスト=X:支給額(介護福祉機器等助成) / Y:支給対象事業所数(介護福祉機器等助成)	単位当たりコスト	円	1,749,597	1,821,899	2,880,667	-		
		計算式	X/Y	2,489,676.07円 / 1,423件	151,217.608円 / 83件	8,642,000円 / 3件	-		

単位当たり コスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	単位当たりコスト=X:支給額(雇用管理制度等助成) / Y:支給対象事業所数(雇用管理制度等助成)			単位当たり コスト	円	287,885	361,989	467,675	-
				計算式	X/Y	42,894,891 円 /149件	10,135,702 円 /28件	935,350円 /2件	-
平成 28・29 年度 予算 内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	雇用安定等給付金	0	-						
計	0	0							

政策評価、 経済・財政再生 アクション・プログラムとの関係	政策	雇用機会を創出するとともに雇用の安定を図ること									
	施策	地域、中小企業、産業の特性に応じ、雇用の創出及び雇用の安定を図ること(施策目標IV-2-1)									
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 27 年度		
		4月～6月に雇用調整助成金を利用した事業所における対象被保険者の6か月経過後の雇用維持率	実績値	%	93.7	90.3		-	-		
			目標値	%	90	90	90	-	90		
		定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 27 年度		
		再就職支援奨励金の対象となった者のうち1か月以内で再就職を果たした者の割合(平成25年度以前) 3か月以内で再就職を果たした者の割合(平成26年度以降)	実績値	%	27.9	64.9		-	-		
			目標値	%	20	40	60	-	60		
		定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 27 年度		
		(公財)産業雇用安定センターにおける向出・移籍の成立率	実績値	%	65.8	60.1		-	-		
目標値			%	49	55	60	-	60			
定量的指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 27 年度			
建設労働者確保育成助成金利用者から、本助成措置があったことにより教育訓練や若年労働者の確保・育成に資する取組を実施したとする評価を受ける割合	実績値	%	99.3	98.4		-	-				
	目標値	%	80	80	90	-	90				
定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 27 年度				
港湾労働者派遣事業において、派遣可能労働者の派遣あっせんを行うことによる派遣成立の割合	実績値	%	93.3	91.8		-	-				
	目標値	%	80	83	83	-	83				
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
介護労働者の労働環境を整備するための介護福祉機器(移動用リフト等)の導入や介護労働者の雇用管理改善に資する制度等を導入し、雇用管理の改善を図った事業主に対して、導入費用の一部を助成する。 介護労働者の雇用管理の改善や人材確保に取り組む事業主に対して支援を行うことにより、介護労働者が意欲と誇りを持って働くことができる社会の実現を目指した環境整備が図られ、施策目標の達成に寄与するものと考えられる。											
改革項目 経済・財政再生 アクション・プログラム	改革項目	分野:	-	-							
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-	-	-		
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-	-	-		
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-											

事業所管部局による点検・改善						
項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	今後高齢化が進展し、介護サービス需要が増加することにより介護業務に従事する労働者の不足が見込まれ、介護分野における労働力を確保することが喫緊の課題とされており、また、介護労働者の離職率は他の産業と比べて高く、雇用管理改善等を図ることはニーズが高い。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	介護労働者の雇用管理の改善等の対策を実施していくことは、介護労働者の雇用管理の改善等に関する法律第4条に国の責務として規定されている。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	今後高齢化が進展し、介護サービス需要が増加することにより介護業務に従事する労働者の不足が見込まれ、介護分野における労働力を確保することが喫緊の課題とされており、また、介護労働者の離職率は他の産業と比べて高く、雇用管理改善等を図ることは優先度が高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-			
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	受益者である事業主が負担する雇用保険料を財源としており妥当である。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的に即した支給要件を設定しており、これら要件を満たした事業主のみに支給している。		
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	機器や制度の導入計画認定状況から、当初支給額を見込んでいたところだが、実際に支給に至った件数が予想を下回ったため。		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
関連事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	平成25年度の中小企業労働環境向上助成金の創設に伴い平成24年度をもって廃止				
	改善の方向性					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達したため、平成27年度をもって終了すること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。					
備考						
本事業については、平成25年度～27年度までを経過措置としている。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	712	平成23年度	467	平成24年度	574	
平成25年度	488	平成26年度	491	平成27年度	504	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位: 百万円)



